

科目名	職務の理解				
到達目標	○研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージをもっと実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。				
指導の視点	○研修過程全体(130時間)の構成と各研修科目(10科目)の相互の関連性の全体像をあらかじめイメージできるようにし、学習内容を体系的に整理して知識を効率・効果的に学習できるような素地の形成を促す。 ○視聴覚教材等を工夫するとともに、必要に応じて見学を組み合わせるなど、介護職が働く現場や仕事の内容を、出来るかぎり具体的に理解させる。				
授業項目	時間数	通学	通信	目標・講義内容・学習課題の概要等	学習のポイント
多様なサービスの理解	2.0	2.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険による居宅サービス</li> <li>・介護保険による施設サービス</li> <li>・介護保険外のサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険による居宅サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。</li> <li>・介護保険による施設サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。</li> <li>・介護保険外のサービスの種類と、サービスが提供される意義や目的を理解する。</li> </ul>
介護職の仕事内容や働く現場の理解	4.0	4.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスを展開する現場の実際</li> <li>・介護サービスの提供に至るまでの流れ</li> <li>・介護過程とチームアプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。</li> <li>・ケアマネジメントを通じて、介護サービス提供に至るまでの流れを理解する。</li> <li>・チームアプローチの必要性と、具体的な連携方法を理解する。</li> </ul>
授業時間数合計	6.0	6.0	0.0		
確認テスト	0.25			小テストを実施することにより習得度を確認する。70点以上を可とし、69点以下は不可とする。不可の場合はレポート課題を追加する。	